



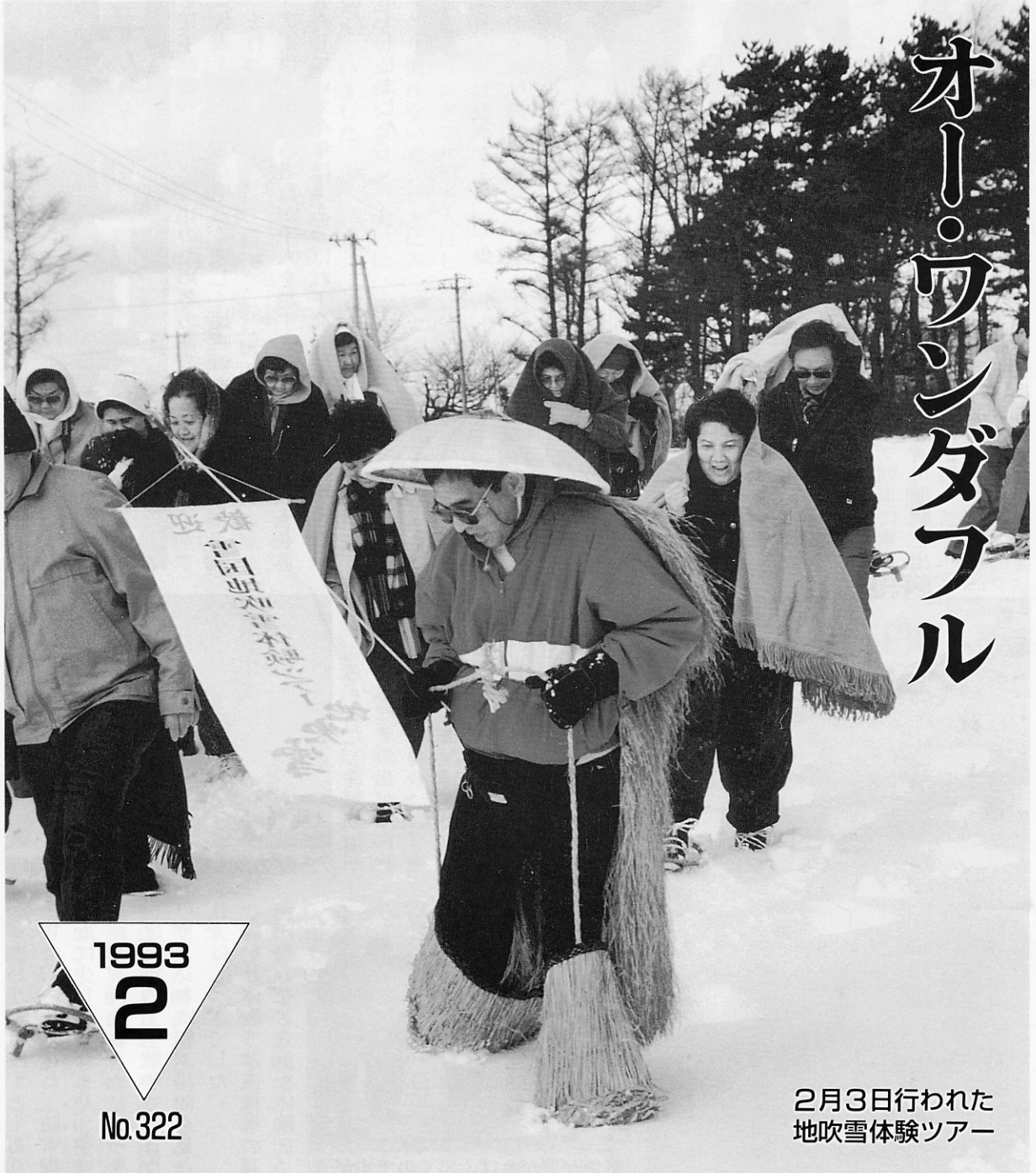
広報

かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 ☎ 2111 内線240



オー!
ワン
ダフル

1993
2

No.322

2月3日行われた
地吹雪体験ツアー

冬の風物詩

「地吹雪体験ツアー」を追う

冬の厄介もの「地吹雪」を逆手にとって町活性化のため冬の観光の目玉として、昭和63年からラブリ一金木（代表＝角田周）が明るく楽しく地吹雪を体験してもらおうと「地吹雪体験ツアー」を行っています。

今年6回目となったこのツアーは、申込み者数が千人を越す人気。毎年オーブニングセレモニーには思考を凝らして今年も「あっぱれ！恋女房のための地吹雪体験」と題しスタートしました。

このツアーに密着し、レポートしました。



モンペ、角巻き、カンジキを付けて雪の上を散歩

●二月一日(月曜日)くもり

数日続いた好天気です、すっかり雪が消えてしまった。三日前までの猛吹雪は一体何だったのか。うらめしい限りである。しかし、オープニングの日が来てしまったのだから気を取り直していざ出陣。

昨日、前夜祭として「米倉ますみ・あっぱれ恋女房コンサート」が盛大に行われた。その米倉さんや大阪、仙台からの参加者の皆さんが、田中町長のあいさつの後テープカットし、ストープ列車に乗り込み10時10分五所川原駅を出発。

列車内ではダルマストープを囲み、地酒、スルメ焼きを



テープカットする田中町長と参加者

サービス。また、津軽鉄道から皆さんにバラの花がプレゼントされました。

ストープを囲み、あれこれ困らんするうちに列車は川倉駅に到着。

目的地、藤枝にはついたものの雪原はどこえやら。稲の切り株が見えているではない

地吹雪

いったん降り積もった雪の粒子が風によって、主に地面近くを飛び跳ねるようにしながら、激しく移動する現象。

高い地吹雪…風速が毎秒8～9mを超える風によって吹き飛ばされる雪が、目の高さよりも高くなって見通しが悪くなり、空いっぱい広がって太陽を隠す時もある。

低い地吹雪…吹き飛ばされた雪が目の高さより低い時をいう。

(青森地方気象台より)



気温が下がればふぶくのですが…

か。まわりを見渡すと…ありました、ありました。防雪柵付近に少しの雪だまり。早速モンペ、角巻き、カンジキを付けて雪の上を散歩。慣れないカンジキに転ぶ場面も見られ大はしやぎでした。

馬ソリ体験では直接馬の背に乗るなど貴重な体験をし

た方もいました。

天気が良いとは言え、さすがに藤枝。吹く風は冷たく、体のしんまで冷え込んでしまっています。そこで登場したのが「ジャツパ汁」。寒い所で食べるあつたかいジャツパ汁は格別のもがあります。雪の上で大いにはしゃいだ後は、このあつたか鍋を囲んで暖をとる。これもまた最高。



ジャツパ汁で温まって下さい

参加した人たちは「雪が少なかったのが残念だったけど楽しかったです。機会があればまた来てみたい。」と感想を残し、金木を後にしました。

もり

●二月三日(水曜日)晴のちくもり
昨日降った雪が少し残っているものの、まだまだ少ない雪。今日は予定を変更して大



雪だ雪だソレー

東農園へ。地吹雪はないけどあたり一面真っ白で、雪を楽しむには絶好の場。ハワイからのお客さん「ハワイ・フランク・今井スノーツアー'93」の皆さんが到着。ほとんど雪を見るのは初めてとあつて「オー・ワンダフル」と大はしゃぎ。慣れないカンジキにみんなでゴロンゴロン。大いに喜んでいました。



ダニエルも大はしゃぎ

山形弁で有名なダニエル・カールさんもこのツアーに参加。さすがに雪は慣れたものでカンジキも上手く履きこなしていました。
また、二代目金太郎の馬ソリも、広い雪原とあつて走りも壮快で、お客さんに津軽の冬を大いに満喫させていました。



金太郎もハッスル

●二月四日(木曜日)晴れ

地吹雪体験を通じて地域おこしの交流をしようと秋田県から秋田いろり塾等の地域おこしグループ29名と青森県側から五所川原市、中里町等の地域おこしグループ37名が集まり、「青森・秋田地域おこし交流会」が行われ、活発な意見が交換されました。

一行は次ぎの日、大東農園



活発な意見の交換がされた交流会

何とか町の活性化につながればと始められ、今や全国的いや世界的に有名になったこのツアー。皆様もぜひ応援して下さい。これからふぶくとを願っています。

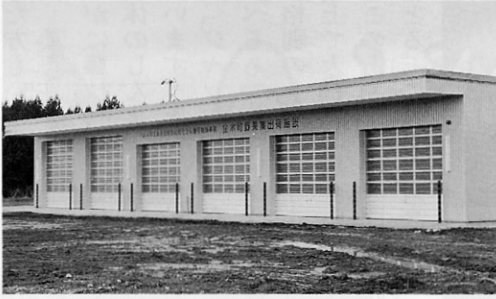
の雪原を散歩。馬ソリ体験やジャツパ汁を楽しみました。みなさんは地域おこしのリーダーだけに、「全国的に有名になったこの地吹雪体験ツアーを参考に、自分たちも更に飛躍しよう頑張りたい。」と話していました。

皆様にこの広報が届く頃までツアーは行われます。一般の皆様にとつては、雪が降れば雪かきなどで大変でしょうが、ツアー関係者にとつては雪ごいでもしたいくらい降ってほしいと思っていることでしょう。年々少なくなっている雪も我々が引き起こした環境汚染による温暖化が原因なのかとつくづく考えさせられます。

津軽の七雪

- こな雪…湿気の少ない軽い雪で、息を吹きかけると粒子が容易に飛散する。
 - つぶ雪…粒状の雪(あられを含む)の積もったもの。
 - わた雪…根雪初雪及び最盛期の表層に最も普通に見られる綿状の積雪であまり固くないもの。
 - みず雪…水分の多い雪が積もったもの、又は日射暖気のため積雪が水分を多く含むようになつたもの。
 - かた雪…積雪が種々の原因の下に固くなつたもので、根雪に最盛期以後も下層に普通に見られるもの。
 - ざらめ雪…雪粒子が再結晶を繰返して粒子が肉眼で認められる程度になつたもの。
 - こおり雪…みず雪、ざらめ雪が氷結した状態になつたもの。
- (昭和16年度東奥年鑑より)

待望の「野菜集出荷施設」遂に完成



完成した野菜集出荷施設

野菜の安定出荷により、野菜作付け農家の所得向上と複合経営の安定化を図るため、農用地有効利用モデル集落整備事業として県の補助を受け昨年八月工事着工していた『野菜集出荷施設』がこのほど完成しました。

この事業は、農用地利用改善団体等の活動区域を対象に、土地利用調整活動等がより積極的に展開できるように、諸条件を整備、支援するもので、

これにより地域自らが主体的に中核的担い手等を育成、確保するとともに、農用地の流動化及び連担化を促進することにより、農用地の有効利用を図るものです。

町の農業情勢は、水稲の余剰労力と転作田を利用した、ハウス栽培による夏秋トマト

や、かぼちゃ、ばれいしょ等の作付けの推進により、作付け面積も拡大され市場評価も高まり、農業経営の安定化が図られつつあるものの、水稲単作経営主体で経営規模の小さい第二種兼業農家と農業機械の個人所有が多く経営が不安定なことから、担い手の育成、確保をより一層充実させることが課題となっています。

このようなことから、耐雪型パイプハウス導入による夏秋トマトを中心とした野菜の作付けを促進し、定規格・高品質野菜の安定出荷による野菜作付け農家の所得向上と複

合経営の安定化を図るための手段として『野菜集出荷施設』を建設したものです。



玉串奉典する田中町長

野菜集出荷施設は、鉄骨造りの平屋建てで旭ヶ丘地区に建設され、延べ床面積は七三〇㎡の広さを誇り、入口には入荷トラック四台、出荷トラック二台が横一列に並ぶことができます。

総事業費は、六七、七九八千円で、うち半分が県の補助となっています。

この施設の管理運営、野菜の集出荷、共同選果等につい

ては金木農業協同組合（組合長 中谷藤太郎）に委託されることとなります。

平成4年現在金木地区の主要野菜作付け面積、出荷数量はそれぞれトマトが7ha、313t、かぼちゃが4.8ha、76t、ばれいしょが18ha、259tとなっており、施設の完成により平成7年をめどに作付け面積、出荷数量ともに約2倍のトマト608t、かぼちゃ140t、ばれいしょ630tを目標に計画されています。

この施設が完成したことで野菜の出荷数量の増加が見込めることになり、今後の有効利用が期待されます。

野菜集出荷施設事業費

区 分	金 額
工 事 費	65,496千円
設 計 委 託 料	1,844千円
計 画 推 進 事 業 費	200千円
附 帯 事 務 費	258千円
計	67,798千円

対象野菜の生産出荷計画

項目	年次			年次		
	現在（平成4年）			目標（平成7年）		
主要野菜名	トマト	かぼちゃ	ばれいしょ	トマト	かぼちゃ	ばれいしょ
作付け面積(ha)	7.0	4.8	18.0	10.0	8.0	35.0
生産数量(t)	343	84	288	675	160	700
10a当たり生産量(kg)	4,971	1,750	1,600	6,750	2,000	2,000
出荷数量(t)	313	76	259	608	140	630

リンゴ栽培で 原田さんが協会賞



田中町長に受賞報告する喜びの原田さん(中央)と奥さん

去る1月29日、中柏木の原田さんが、リンゴ作りでは他に類を見ない12haもの園地を見事優良経営していることが認められ、青森県農業経済研究協会(理事長〓今井金城)から協会賞を受けました。

青森県農業経済研究協会では、青森県の農業発展のため農業改善について自ら実践し農業経営、経済等に関する研究や指導に優れた業績をあげた個人や団体を表彰しており、選考基準はかなり厳しいものとなっております。

原田さんは、当初3haのリンゴ園を経営していましたが昭和49年から山林を少しづつ開墾し、園地を拡大。現在では12haのリンゴ園を経営しています。わい化栽培、マメコバチ受粉、摘花剤、摘果剤、全園無袋栽培など青森県が将来目指している先進的経営をすでに取り入れ、さらに市場出荷まで自分で行うなど高効率・高生産性・高所得の大規模経営を展開しています。

「今後は経営の法人化について検討します。」と原田さんはますます意欲をのぞかせていました。

川倉老人クラブ 交通安全で表彰状



表彰状を受ける中谷会長

川倉老人クラブ連合会(会長〓中谷専之助)が、近年高齢者の交通事故が多くなってきていることから、少しでも事故をなくしようと、高齢者交通安全教室等により、交通安全の意識の高揚に尽力された功績が認められ、去る12月14日、金木警察署(署長〓奈良正昭)、金木地区交

通安全協会(会長〓葛西文昭)から表彰されました。

川倉老人クラブ連合会では昭和63年から年一回、高齢者のために交通安全教室を開催したり、道路わきのゴミ拾いをするなど、明るい交通社会づくりに貢献しています。

表彰を受けた中谷会長は「大変うれしいです。これからも高齢者の交通事故防止のため努力していきます。」と、喜びを述べ決意を新たにしました。

一人暮らし老人に 配食サービス



弁当をもらいにつこり

一人暮らし老人の皆さんに手作りのお弁当を食べてもらうと、町と社会福祉協議会が

六十五歳以上の一人暮らし老人を対象に「一人暮らし老人配食(弁当)サービス」を行いました。

配食サービスは、町連合婦人会、日赤奉仕団の協力を得、手作りの弁当を作ってもらい民生委員が担当区域の一人暮らし老人宅を一軒一軒尋ね、手渡しました。

弁当を受け取った老人は「ありがとうございます。ごちそうになります。」とニコリ。真心のこもった手作り弁当に舌つつみをうっていました。

ハ～イ!! 百人一首大会



新
春

(会長 齊藤忠志) が、青少年健全育成のため、小・中学生を対象に昭和52年から行っている行事で、今年40名の参加者が、三人一組の団体戦、学年別個人戦を競いました。小学校高学年にもなると、上の句の最初の部分だけで札を取るなど次元の高い争いを演じていました。

成績は次のとおり。
団体
優勝 昭和町A
準優勝 山道町B

これは私のものよ

お正月恒例の百人一首大会が1月10日、中央公民館で行われました。	小学生二年の部	小学生三年の部	小学生四年の部	小学生五年の部	小学生六年の部	中学生の部	個人	朝日町・北新町C
第三位	優勝 長尾香澄	優勝 津島伊織	優勝 泉谷竜祈	優勝 今勇介	優勝 中川悦子	優勝 大橋幸美	第三位	朝日町・北新町C
第一位	準優勝 白川美沙子	準優勝 楠引絵美	準優勝 長谷川竜	準優勝 花田ひとみ	準優勝 山田悦子	準優勝 角田真樹子	第一位	朝日町・北新町C
第二位	準優勝 対馬綾子	準優勝 川山真理	準優勝 白川和喜子	準優勝 山田紗矢香	準優勝 加藤朝香	準優勝 角田真樹子	第二位	朝日町・北新町C
第三位	優勝 加藤桂太	優勝 角田真理	優勝 白川和喜子	優勝 山田悦子	優勝 加藤朝香	優勝 大橋幸美	第三位	朝日町・北新町C



綱が切れそう

ワッショイ!!ワッショイ!! 綱引き大会

金木町校外指導連絡協議会(会長 瓜田正義)が、冬期休業中の青少年健全育成の行

事として、第六回綱引き大会を1月7日、金木中学校体育館で行ないました。

大会は、町内各小・中学生合わせて248名、22チームが参加し、三本勝負で争われました。力が伯仲しているせいが多い。力が伯仲になることが多い。三本目も一進一退の長い勝負で、汗びっしょりになりました。ながらも精一杯の力を出していました。

どのチームも勝ち負けにはあまりこだわらず、勝ったチームをたたえるなど終始和やかな雰囲気、正月早々の競技にすがすがしい汗を流し、楽しんでいました。

成績は次のとおり。

小学生男子
優勝 嘉瀬小学校A
準優勝 金木小学校C
小学生女子
優勝 金木小学校C
準優勝 嘉瀬小学校A
中学生男子
優勝 金木中学校A
準優勝 金木中学校B
中学生女子
優勝 金木中学校A
準優勝 金木中学校B